

中学生が演劇の稽古を受けることを通じて身体表現や相手への話の伝え方などを学ぶ「お芝居プロジェクト」で、指導する学生たちのまとめ役を担った。大学1年時のみ単位認定される活動に、2年時以降も希望して携わり続けた。11月には浜松市浜北区内のこども園や協働センターで成果発表会を開いた。文化政策学部4年。京都府向日市出身。22歳。

静岡文化芸術大の演劇サークル「ぶちまり」のリーダー

しもほう 下宝 礼奈 さん (中区元浜町)



この人

「稽古で心掛けたのはどんな点か。」
 「ことしは新型コロナウィルスの影響で、中学生の参加を例年より10人ほど減

るのが刺激になったのか、10月に5日間行った稽古のとき以上に声が出ていた。堂々と演技できていたので良かったと思う」

「稽古で心掛けたのはどんな点か。」

「4年間プロジェクトに関わってきたと思うことは。周囲への気配りや臨機応変な対応など自分にとっても学びが大きかった」
 「静岡県内の高齢者福祉施設で働く予定だ。高齢者が健康づくりのために芝居に取り組むといった活動をしてみたい」

◇ 趣味は映画鑑賞。
 (浜北支局・松浦直希)